



【スカイプ面接】(協同組合エコ・リード千葉事務所)
 受入農家はインターネット回線を利用したテレビ中継でベトナム人実習生と面接。用意された実習生の履歴書から、実習生を採用内定します。

年間を通して労働力を求めている農家に、外国人技能実習生の受け入れを提案しています。これは茨城県にある協同組合エコ・リード(技能実習生監理団体)の協力により行っています。受入希望のとりまとめは年3回。受入要件、技能実習で行える職種などについて制限があります。実習生の送出国はベトナム共和国に限定しています。

外国人技能実習生の受け入れ支援

平成30年10月に4人のベトナム人実習生が入国しました!



片岡 正義さん(白里地区) ※左写真の左
 今回、JAの提案で女性3人を受け入れた。最初は言葉が通じなく苦労したが、徐々に仕事を覚えてくれたので労力になってきた。ネギを中心に播種から収穫まで、一連の作業を実習してもらっている。今年は男性実習生を申し込んでいる。

実習生の入国予定

- 8月入国 → 1人(女性)
 - 10月入国 → 4人(男性3人、女性1人)
- ※現在、3戸の農家が実習生5人の入国を待っています。



雲地 康夫さん(睦岡地区) ※左写真の左
 現在、JA外の監理団体からもフィリピンの技能実習生1人を受け入れている。今回、JAの提案でベトナム人男性1人を受け入れた。英語が通じなく、会話には苦労しているが、フィリピンの先輩実習生が通訳して仕事を教えるなどしてくれるので助かっている。

【受入農家の要件】

- ① JA山武都市の組合員であること
- ② 農産物の年間販売高が実習生1人に対して一定水準以上が確保されること
- ③ 取引口座がJA山武都市にあること

協同組合エコ・リード

千葉事務所
 (担当) 八角 勝義さん

受入希望農家へJAの担当職員と同行訪問し、詳細を説明いたします。各種手続き、書類作成、受け入れまでご支援させていただきます。



JAの労働力支援動いています!

特集
農業振興計画2016
 レポート⑨



今回はJAの労働力支援として、訪問活動において提案している「農作業ヘルパー無料職業紹介所」と「外国人技能実習生の受け入れ」について特集します。実際に働いている様子を紹介するほか、雇用者(農家)へのインタビューを交え、経過をご報告します。

農作業ヘルパー無料職業紹介所

マッチング実績 (R1.6現在)

- 求人農家: 44人登録
- 求職者: 90人登録

30戸の求人農家に52人をマッチング。35人が採用となりました。

求人サイトによる募集を始めました。

農作業ヘルパー無料職業紹介所(営農部 営農振興課内)
 TEL.0475-82-3531

支援先の作業はさまざまです。



▲(睦岡地区)十川将彦さん(左)とヘルパー ▲(二川地区)内田正治さん(後)とヘルパー

雇用者

(豊成地区)
 今関 浩幸さん
 (写真上)

ヘルパー

(写真下)



(今関さん)
 数年前から1000坪のハウスを2人で作付けている。時期によっては朝から晩まで休む間もなく仕事をしていた。労働力はすぐにでも欲しかった。運営委員会で「農作業ヘルパー無料職業紹介所」を知って、すぐに申し込みをした。知人ではない方を雇用するのは難しいところもある。雇用者とヘルパーともに話し合いながら、うまくやっている。今は助かっている。今後の労働力の状況によっては作付拡大も検討したい。

(ヘルパー)

実家は農家。今はキュウリの下葉かきを行っている。野菜は自分で栽培したことがなく、出荷規格など知らなかった。一本のキュウリを食べる感覚が変わった。